



チームカ合

カ合小学校だよりNo14
令和3年12月14日
児童数:523名
文責:校長 馬場康弘

授業参観・懇談会お世話になりました！

12月2日(木)、3日(金)の2日間に分けて密を避けながら、授業参観と学級懇談会を実施しました。約2年ぶりの実施で、久しぶりにお子さんの学習する姿をご覧になられたことでしょうか。特に、2年生の保護者の皆様方は、入学以来初の授業参観ということで、この日を心待ちにされていたことでしょうか。

子どもたちも保護者の皆様から参観していただく、いつもより緊張した表情をしていました。ただ、時間の経過とともに、徐々に心地よさを感じながら授業に集中して取り組んでいたようでした。

その後に学級懇談会を行いました。担任も日頃の子どもたちの様子や2学期の様子をお伝え



するために準備をしておりました。

参観日



ただ、参加される保護者の方がやや少ないように感じました。コロナ禍でなかなか顔の見えるお付き合いができてにくい中、懇談会は貴重な時間だと考えています。次回は、懇談会の進め方にも少し工夫をしてみたいと思います。



学力テストがありました！

12月1日(水)、2日(木)の2日間、3年生以上の子どもたちは、学力テストを受けました。3・4年生は国語と算数の2教科、5・6年生は国語・社会・算数・理科の4教科を受検しました。最近のテストの傾向は、以前のような知識・技能だけで解ける問題は少なくなってきました。逆に、思考力や判断力・表現力等を問う問題が増えている傾向にあります。社会の変化が今後ますます激しくなり、誰も経験したことのないような予測不可能な社会を主体的に生き抜くために、自分で考え・判断し・行動する力がますます求められているのだと私は思っています。だから、小学校の時期はいろんなことに興味を持ち、挑戦してみて、時には失敗する経験も必要だと思います。そして、失敗から学べばよいのです。

しかし、決して学力テストが全てではありません。子どもたちの多様な力は1回限りのテストでは、傾向は分かるものの到底全てをはかれるものではありません。一つの参考資料としていただき、お子さんを伸ばす材料の一つにしてもらえれば幸いです。

第3回国際交流会

1学期に続き、今年度3回目の国際交流会を12月8日(水)に行いました。



私は主に6年3組の交流会を観ましたが、子どもたちは物怖じすることなく、楽しんでコミュニケーションを図っていました。ただただ、すごいと感心するばかりでした。次回の4回目は、明日15日(水)です。

ゲームをコントロール！

携帯電話を持たなくてよければ、私は正直持ちたくありません。ただ、今の時代、持たないという選択はなかなか難しいものです。これは、小学生の子どもたちにとってゲームがそうではないでしょうか？元来、ゲームは娯楽の一つであり、人が使うものでした。しかし、今は、娯楽を超えて依存性が強いもの、人が支配されるものになっている状況が見受けられないでしょうか？ゲームによっては、かなり過激な言葉が使われており、子どもたちもその影響を受けているのか、「死ぬ・殺す・消えろ」など、冗談でも使ってほしくない言葉を耳にすることがあります。そのような言葉を発した人は気軽に言ったのかもしれませんが、言われた方はたまったものではありません。一生心に傷が残る場合があり、最悪の事態も招きかねません。

ゲームを全く使わないということではなく、ゲームとどのように向き合っていくのかということが今、子どもたちにも我々大人にも問われていると思います。タブレットについても然りです。

ご存じの方も多いかと思いますが、「ゲーム脳」という言葉があります。本来、ゲームを長時間または繰り返しプレイしている人間の脳を意味する言葉だったそうです。しかし、今では、ゲームの影響を顕著に受け、現実とゲームの区別がつかなくなったり、あるいはゲームの影響で暴力性を増した思考回路や人を示したりする意味があるそうです。この部分は、大変危惧されることです。

まもなく冬休みを迎えます。子どもたちの自由な時間も増えることでしょう。ここで、お子さんとゲームについて使用時間や内容、飛び交う言葉等についてぜひご確認いただければと思います。また、タブレットも教科書やノートと同じように学習道具の一つですので、目的外で使用せずに学習に使うようお声掛けをお願いします。冬休みに入る前、学校の方でも子どもたちへ指導します。

右の写真は、「あったかもみじの木」です。友達から親切にもらったことや優しい言葉をかけられたことなどをもみじの葉に書いています。全学級で取り組みました。こんな言動がたくさん飛び交う学校（社会）にみんなですていしましょう。



☆お詫び

前回の学校だよりの中で、学級委員長さんの名前が、「大隅さん」となっていました。正しくは、「大隈さん」です。大変失礼しました。お詫びして訂正させていただきます。

12月全校朝会 校長講話 テーマ：成長

R3.12.7

おはようございます。

みなさん、自分で立てた2学期の目標は覚えていますか？もし、すぐに思い出せなかった人がいたら、すぐに確認をしておいてください。また、カ合小学校の目標は、みんなも知っているように「やさしく・かしこく・たくましい子どもを育てること」です。友達となかよくしていますか？しっかり勉強していますか？運動や健康な生活に心がけていますか？ぜひ自分を振り返ってみてください。

さて、早いもので12月になりました。12月は、2学期のまとめの月です。2学期の始業式の日、「2学期はレベルを上げてほしい。」というお話をしました。そこで、12月は「成長」という言葉を意識してみましょう。

11月22日（月）に大変残念でしたが、トネリコの木を切りました。あのトネリコの木は96年という長い時間をかけて少しずつ成長して、あのような大きな木になったと思います。同じように、みなさんもトネリコの木のように、少しずつ成長しているのです。「友達にやさしい言葉をかけることができるようになった。」とか「自分から進んで係の仕事ができるようになった。」とか「ノートの文字が丁寧になった」とか、自分の成長は、トネリコの木の実と同じように、自分ではなかなか気づかないものです。

では、どうすれば自分の成長を確かめることができるのでしょうか。

よい方法があります。それは、友達や先生、お家の人の力を借りるのです。自分の成長は自分では気づきにくいのですが、一緒に生活している友達や先生、お家の人には分かります。だから、見つけた成長を友達に伝えてあげたり、先生やお家の人に教えてもらったりすれば、自分の成長に気づくことができます。

2学期や1年間のまとめとなる12月は、みんなの成長、クラスや学校の成長をみんなで見つけ合い、伝え合っていきましょう。

先生方も、子どもたちの成長をたくさん見つけて伝えてあげてくださいね。そして、新しい年を成長した姿で迎えらるるようにならしましょう。

